

授業科目	障がい者スポーツ入門						
担当者	島 雅人 (実務経験者)、相原一貴 (実務経験者)					(オムニバス)	
実務経験者の概要	<p>島 雅人：日本パラリンピック委員会 医・科学・情報サポートスタッフおよび日本スポーツ振興財団ハイパフォーマンスサポート事業の外部委託員としての実務経験がある。また、中級パラスポーツ指導員資格を有するとともに、スペシャルオリンピックス日本のトレーナー資格、コーチ資格を有し、競技指導の実務経験を有している。</p> <p>相原一貴：理学療法士として病院やデイサービス等での勤務経験あり。スペシャルオリンピックス日本のサッカープログラムのコーチ資格を有している。また、様々な障がい者スポーツに関する実務経験を有している。</p>						
専攻(科)	理学療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	1 単位	講義 形式	講義
	作業療法学専攻	開講時期	通年	選択・必修	自由		

### ■ 授業目的・内容

本講義を履修することで、地域の障がい者で初めてスポーツを行う方に対して、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援できるような知識と技術を身につける事を目的としています。

障がい者福祉施策と障がい者スポーツについて講義するとともに、障がい者スポーツの意義と理念を理解し、身体障害、知的障害、精神障害とスポーツについて理解を深めるとともに、日本国内における障がい者スポーツの現状と指導者育成制度について学びます。また、障がいに応じたスポーツの工夫や、障がい当事者との交流をはかり、障がい者スポーツ指導者としての導入を図ります。

### ■ 到達目標

1. 障がい者福祉施策と障がい者スポーツについて概説できる。
2. 障がい者スポーツの意義と理念を理解できる。
3. 身体障害、知的障害、精神障害とスポーツについて理解できる。
4. 日本国内における障がい者スポーツの現状と指導者育成制度について説明できる。
5. 障がい当事者と交流をはかり、楽しさを重視したスポーツの導入を支援できる。

### ■ 授業計画

- 第1回 障がい者スポーツの意義と理念
- 第2回 全国障害者スポーツ大会の概要
- 第3回 全国障害者スポーツ大会の歴史と目的・意義
- 第4回 障がい者スポーツに関する諸施策
- 第5回 全国障害者スポーツ大会選手団編成とスタッフの役割
- 第6回 スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質
- 第7回 スポーツの意義と価値
- 第8回 スポーツの意義と価値
- 第9回 障がい各論 各障がいに対する専門的（医学的）な知識の学習 視覚障がい
- 第10回 障がい者のスポーツ指導における留意点
- 第11回 障がい者のスポーツ指導における留意点
- 第12回 障がい者のスポーツ指導における留意点
- 第13回 最重度の障がい者のスポーツの実際  
(重症心身障がい児・者を含む)
- 第14回 各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫
- 第15回 各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫

## ■ 評価方法

科目試験（筆記試験）				
レポート	◎	50	%	
小テスト				
その他・備考	オンデマンド課題提出50%			

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

日頃から障がい者スポーツに関する情報を意識して得るようにしてください。テレビやインターネットで多くの情報を得ることができます。また、地域や大学が主催するイベントに参加して、できる限り障がい者スポーツに関わる機会を増やすように心がけてください。実体験を通じて障がい者スポーツの魅力を感じ、自分自身が出来ることについて考え行動することを望みます。

## ■ 教科書

書名：障がいのある人のスポーツ指導教本  
著者名：（公財）日本障がい者スポーツ協会  
出版社：ぎょうせい

## ■ 参考図書

## ■ 留意事項

本科目は、初級・中級パラスポーツ指導員資格を取得するために必修となる科目です。  
実技の内容を含む講義日は、運動できる服装（ジャージ、靴など）を着用してください。  
オンデマンド講義は、自宅等で受講いただきます。パソコン、タブレット端末やWi-Fi等、受講環境を確認してください。万一、自宅等で受講できない場合は、大学事務局に相談してください。